

サステナブル・ビジネス・マガジン

alterna



- ◆2007年3月創刊。CSR/サステナビリティに特化したビジネス情報誌（季刊。オンラインは毎日ニュース更新）
- ◆Yahoo!ニュースに記事提供。月間PV500万。
- ◆編集長：森 撰（元日本経済新聞ロサンゼルス支局長）
- ◆論説委員：原田勝広（元日本経済新聞編集委員・明治学院大学教授）ほか

2021年版

CSR検定

4級

SDGsの基礎
公式テキスト



SDGsの理解はCSRから

alterna

すべての社会人・学生・生徒に

2022年版 第1版

CSR検定

サステナビリティとSDGs

3級

公式テキスト
編著：CSR検定委員会



サステナビリティとSDGs

alterna

ビジネスパーソン必須の入門書

2022年版 第1版

CSR検定

ESGとサステナビリティ経営

2級

公式テキスト
編著：CSR検定委員会



ESGとサステナビリティ経営

alterna

企業価値向上に必須のプロセス

CSR検定2級： ESGとサステナビリティ経営

CSR検定3級： サステナビリティ経営とSDGs

CSR検定4級： SDGsの基礎

サステナビリティ 2022メガトレンド

「サステナビリティ領域が大変動期に入った。ESGのE(環境)では、2030年に温室効果ガス46%削減の政府目標が産業界を突き動かす。S(人権)の領域では、企業の「人権リスク」が至る所で噴出し始めた。G(ガバナンス)改革は待たない。2022年に何が起きるか、メガトレンドを追った。

(オルタナ編集長・森 撰、副編集長・吉田 広子、山口 勉、オルタナS編集長・池田 真隆、オルタナ編集部・長濱 慎)

- 1 パーパス経営、源流は日本にも
- 2 統合報告、一貫性へ大同団結
- 3 「炭素税／排出量」は五里霧中
- 4 SDGsで「やる気」高まる
- 5 「脱プラ」新法、本丸はリサイクル
- 6 「生物多様性」、再び脚光の年
- 7 ビジネスと人権、舞台は国内へ
- 8 「動物福祉」が企業リスクに

ダボス会議で、並みいるグローバル企業の経営者たちに次のように呼び掛けた。

「皆さんにお願いしたいのは、皆さんの企業やネットワークを使って、世界の社会課題解決に取り組み、支援し、それを皆さんのコア・バリューにすることです」

1980年代から急速に進んだ経済のグローバル化は、その多くを開発途上国の産品に依存する。コーヒー豆、カカオ豆、バナナ、紅茶、天然ゴム、パーム油、棉花、紛争鉱物。途上国では、児童労働や強制労働問題が今も深刻だ。ダボス会議でのアナン氏の呼び掛けを契機に、MDGs(ミレニアル開発目標)SDGsの前身と、その実践組織である国連グローバルコンパクト(UNGC)が2000年に生まれた。グローバルコンパクトは2021年11月末現在、世界各国から企業や大学、非営利組織など1万9千団体以上が加盟した。

投資家・市民が企業動かす

気候変動問題は、2021年にノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎博士が指摘していた通り、1960年代から研究者の間で問題になっていた。その後、ブラジル・リオ

デジャネイロで1992年に開いた「国連地球サミット」で気候変動枠組条約と生物多様性条約を採択した。2021年10-11月に英グラスゴーで開いたCOP26や、21年と22

ポレートガバナンス・コード」が日本でも生まれた。アナン氏を中心とした国連の動きをサポートするのがW

ビジネスと人権 ラギー氏と組む

アナン氏の4つ目の贈り物は「ビジネスと人権指導原則」だ。UNGCとMDGsを2000年に一緒に作った盟友ジョン・ラギー氏を、2005年に国連に呼び戻して「ビジネスと人権」の検討を始めさせたのもアナン氏だ。「ラギー氏の著作『正しいビジネス』」には、ラギー氏を懸命に国連に呼び戻そうとするアナン氏の様子が書いてあります。「グローバル・コンパクト・ネットワーク ジャパンの有馬利男代表理事」

ESGの概念はPRIが生んだ

「ESG」という言葉や概念を生み出したのは、アナン氏が提唱した国連責任投資原則(PRI)だ。PRIは2006年に退任したアナン氏にとって最後の仕事だった。日本では2015年9月28日、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がPRIに署名したことで、GPIFから年金運用の委託を受ける銀行や証券会社に一気に広がった。

その投資家を動かしているのは、実は一般市民だ。レオス・キャピタルワークスの藤野英人会長兼社長(42ページ)のインタビュー(記事参照)は「投資先の企業の先には消費者、つまり市民・国民がいる。市民の意向を無視して投資はできない」と言い切る。



その前年の2014年には投資家の基本原則である「スチュワードシップ・コード」が、2015年6月には「コー

コフィ・アナン元国連事務総長
[在任1997~2006]



- 4つの贈り物
- ①国連グローバルコンパクト
 - ②MDGs>SDGs
 - ③国連責任投資原則
 - ④ビジネスと人権指導原則
- グローバル経済の
負の側面に危機感

① 国連グローバルコンパクト
[1999年の世界経済フォーラムで提唱]



② MDGs [2000年9月採択]

1 Eradicate extreme poverty and hunger	2 Achieve universal primary education	3 Promote gender equality and empower women	4 Reduce child mortality
5 Improve maternal health	6 Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases	7 Ensure environmental sustainability	8 Develop a global partnership for development

経済のグローバル化

企業

社員/未来の社員/顧客

国際社会

市民
NGO

パリ協定[2015年12月]
2050年までに脱炭素

CDP
GREENPEACE
WWF
WE MEAN BUSINESS

④
ビジネスと人権
指導原則「2011」

③ 国連
責任投資原則
[2006年採択]

PRI

日本のGPIFも署名[2015年]

ESG
TCFD
[2015年設置]

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等をすすめる	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

② SDGs [2015年9月採択]

[作成:オルタナ編集長・森 撰]

投資家

NGO/NPO

ESG投資

信頼と共感

支援